

科目分類	栄養教諭資格関連科目			開講学科	医療栄養学科
科目番号	学年	担当セメスター	区分	単位数	授業時間数
14010	4	後期	選択	2	30
授業科目名 (英文)	教職実践演習 (栄養教諭) (Seminar for Teaching Practice (Nutrition Teachers))				
担当教員名	◎豊田 英敏/齋藤 さな恵				
授業の概要及び到達目標					
<p>○授業の概要</p> <p>授業は大きく2つに分けることができる。第1は、「教職に関する科目」で学んだ内容の振り返りである。第2は、「栄養に係る科目」すなわち医療栄養学科の専門課程で学んだ内容の振り返りである。毎回、テーマにそって、既習内容のポイントを学習する。主担当のみならず他の教員が授業に関わり、討論やロールプレイング等も行いながら実践的に学ぶことが特徴である。また、学校の食育と給食の実際を参観し、学校の取り組みを学ぶ機会や実践を知る機会も取り入れた授業である。</p> <p>○授業の到達目標</p> <p>栄養教諭として必要な基礎的な知識と専門性の形成に関して、以下の4項目について確認し、自己の課題を明らかにする。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①教育に対する使命感や責任感をもち、子どもに対する愛情が豊かであること ②社会性や対人関係、コミュニケーションの能力が適切であること ③子どもや学校に関する必要な知識や対応能力の基礎を身に付けていること ④学校給食管理と食育についての専門的指導力の基礎を形成していること 					
準備学習等					
<ul style="list-style-type: none"> ・第1回に「履修カルテ」の点検を行うので、4年次前期分までを記入しておくこと。 ・「履修カルテ」は第15回授業日に提出のこと。 事前学修 2時間 ・「教育実習」で実施した指導案を、子どもが主体的に「食」についての課題を把握し、改善できるように工夫・修正し模擬授業実践ができるよう研究しておくこと。事前学修 2時間 ・第10回・第11回は、学校のご協力を得て、現場見学を実施するので、質問事項を整理して栄養教諭としてどのような資質・能力が必要なのかまとめておく。 事前・事後学修 4時間 ・各回とも、これまでそれぞれの科目で学んできたこと、教育実習の体験を踏まえての総復習であるので、関連のテキストや資料にも目を通して臨むこと。 事前学修 2時間 ・第12回～15回は教育実習で実践した授業の工夫改善を行い模擬授業を実施するので、十分な事前学修をしておくこと。 事前学修 2時間 ・能動的な参加が求められ、栄養教諭として力量を身に付ける授業である。 					

成績評価の方法	指導案の工夫・改善模擬授業：(20%) 授業参加態度：(10%) 提出物：(10% 履修カルテ、シャトルカード他) 最終確認レポート等：60%
テキスト	指定無 各回の主担当教員が指示した場合、関連の既習のテキスト持参のこと
参考図書	講義の中で紹介する。
備考	各教員のオフィスアワーについては、desknet's 記載の一覧にて確認すること
授 業 計 画	
授業テーマ	主担当者
第1回 学習の振り返り、授業オリエンテーション ・目指す教師像	豊田
第2回 これまでの教職関連科目の履修等において、自己の課題を明確にし、課題と対応を考える。 ・履修カルテ・教育実習の記録・授業実践から	豊田
第3回 栄養教諭の使命と責任、知識と技能 ・目指す教師像レポートから協議する	豊田
第4回 栄養教諭の職務 ・教育実習から学んだことから食育指導・学校給食管理	豊田
第5回 子ども理解と指導・援助①-指導援助とコミュニケーション ・現代の子どもたちの「食」に関する課題から	豊田
第6回 子ども理解と指導・援助②-特別なニーズへの対応 ・「発達障害」について事前に調べ、指導と支援について学ぶ	豊田
第7回 食と健康問題①-子どもの食習慣	齋藤
第8回 食と健康問題②-食物アレルギーの対応	齋藤
第9回 保護者・児童生徒の食に関する相談への対応 ・教育実習で課題となった保護者・児童生徒等の対応の事例研究をとおして対応の在り方を学ぶ。	豊田
第10回 見学演習① 校長先生のご講話 (特別支援教育における教育目標と教育課程)	豊田/齋藤/ 砂村
第11回 見学演習② 校舎内外、活動内容の見学 小学校現場見学-学校における給食と食育(見学と体験) ・小学校の現場を見学し、教育実習で学んだことを基に、栄養教諭の職務について現場見学を通して知・技をさらに深める。	豊田/齋藤/ 砂村
第12回 よりよい指導を目指して -模擬授業の研究- ・教育実習で実践した指導案を検討し、子どもが主体的に「食」についての課題を把握し生涯学習体系の中で「生きる力」となれるような授業となるよう改善する。	豊田
第13回 よりよい指導を目指して -模擬授業の実践- 協議 ・個人発表 相互評価(ルーブルック評価)	豊田
第14回 よりよい指導を目指して -模擬授業の実践- 協議	豊田
第15回 最終課題レポート記述 総括討論	豊田